



世界 400 地区以上の共同プロジェクト

2022 - 23

パートⅢ

## RLI パートⅢ — 私のロータリーの旅

### 目 次

ロータリー・リーダーシップ研究会 (RLI) は小グループによるファシリテーション手法によって、ロータリアンを引き込み、ロータリークラブを強化するために開発された多地区リーダーシップ開発およびロータリー開発プログラムです。RLI は RI の推奨プログラムですが、公式なプログラムではありません。

**私たちの使命：** ロータリー・リーダーシップ研究会は草の根の多地区リーダーシップ開発プログラムです。その使命は、質の高いリーダーシップ研修を通して、ロータリークラブを強くすることにあります。



1. **ロータリーの機会 (Rotary Opportunity)** ..... 99  
ロータリーの旅を進めるとき、個人や地域社会、あるいは職業上の成長や発展のために、ロータリーの中の利用できる多くの機会を探求することができるでしょう。



2. **効果的なリーダーシップ戦略 (Effective Leadership Strategies)** .. 105  
ロータリーの旅を進めるとき、私は複雑で熟練したリーダーシップ技術の使い方に引き込まれ、そしてリーダーシップの機会をしっかりと身につけることでしょう。



3. **ロータリー財団Ⅲ：国際奉仕 (International Service)** ..... 108  
ロータリーの旅を進めるとき、様々なニーズに出会い、その問題を解決し、平和の支援を通して、世界中にコネクションを築くことができます。



4. **公共イメージと広報 (Public Image & Public Relations)** .. 112  
ロータリーの旅を進めるとき、地元地域社会や世界が受ける恩恵に対して、クラブとロータリーのイメージを高める機会を確認することでしょう。



5. **規定審議会・決議審議会 (The Council on Legislation & Council on Resolutions)** ..... 113  
3年に一度開かれる規定審議会は、ロータリーの管理運営プロセスの重要な部分です。参加者はオープンマインドで、ロータリーにとって何がベストなのかを考えることが求められています。



6. **変化をもたらす (Making A Difference)** ..... 118  
ロータリーの旅を進めるとき、RLI の研修によって私自身の経験や成長を自己評価することができるでしょうし、また後輩のロータリアンのために改善のお手伝いができるでしょう。

## 1 ロータリーの機会



ロータリーの旅を進めるとき、個人や地域社会、あるいは職業上の成長や発展のために、ロータリーの中の利用できる多くの機会を探求することができるでしょう。

### セッションの目標

- ▶ 国際ロータリー (RI) の常設プログラムを知りましょう。
- ▶ 国際ロータリーのプログラムに参加することであなたやあなたのクラブにはどのような変化がうまれるか考える。
- ▶ あなたのそれぞれのプログラムに参加した経験を話し合う。
- ▶ それらに参加することは国際ロータリーの使命とどのように適合するのでしょうか。

### セッションの問い

- 1 国際ロータリー (RI) の常設プログラムには、どんなものがあるでしょうか。  
(資料 1 : P100)
- 2 RI の常設プログラムにあなたのクラブは参加していますか？  
すでにいずれかのプログラムに参加した経験のあるクラブは、その意義や効果をどのように評価していますか？
- 3 「ロータリーの親睦活動」と「ロータリアン行動グループ」(資料 2 : P101, 資料 3 : P103) について考えてみましょう。
- 4 これらのプログラムは、「国際ロータリーの使命」とどう関連づけられるでしょうか。

### 国際ロータリーの使命

国際ロータリーの使命は、職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人びとに奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進することである (ロータリー章典 26.010.1)。

## セッション1 資料1



インターアクトは12～18歳の青少年のために、ロータリークラブによって結成され、提唱されている奉仕組織です。121カ国に10,900以上のクラブがあります。



ロータリー地域社会共同隊 (RCC)は地元地域社会の生活の質を向上するために活動する、ロータリアンではないグループです。76カ国に6,400以上のRCCがあり、ロータリークラブによって結成され、提唱されています。



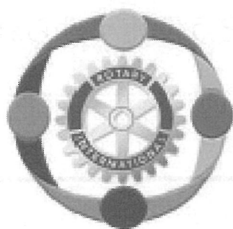
ロータリー友情交換はロータリアンとその家族が、他の国へ相互の訪問をし、お互いの家庭に滞在し、直に違った文化を学ぶことを奨励しています。



ロータリー青少年交換は15～19歳までの青少年に一週間から1学年度までの範囲で文化交流するために海外を旅行する機会を提供します。ロータリークラブと地区は毎年、約9,000人以上の青少年を提唱し、受け入れをしています。



ロータリー青少年指導者育成プログラム (RYLA)は14歳以上の子供および成人の異なる年齢層を対象に指導者としての資質を認め、また伸ばすために、クラブと地区によって提唱されるセミナーです。



「ロータリー親睦活動グループ」は、共通の関心事、職業、またはレクリエーションの活動を軸に、交流と友情を深めるといふ主な目的のために世界中から結束した人のグループです。

## セッション1 資料2



# ロータリー親睦活動グループ

ロータリー親睦活動グループは、共通の趣味、関心、スポーツ、職業を土台としたロータリーメンバーの集まりです。

交流を通じて、専門知識・スキルをさらに磨き、海外に友人をつくれるだけでなく、特技を生かした奉仕活動を実施することもできます。

### 親睦活動のメリット

- 自分のクラブや国を越えた友情を築く機会となります。
- ロータリーの公共イメージとブランド力を高めます。
- ロータリー入会やロータリー活動への参加を促進します。

### 親睦活動グループのしくみ

- 各グループは国際ロータリーから独立して運営されます。
- 独自の規定、会費、管理体制をもちます。
- メンバーになれるのは、ロータリアンとその家族、ロータリーのプログラム参加者／学友です。

### 新しいグループの結成

自分の関心、趣味、職業のグループがない場合は、一緒に新しいグループを結成できるメンバー候補者を探しましょう。

- My ROTARYから開くことのできるフォーラムの関連グループ(または新しいグループを開設)で参加を呼びかける。
- フェイスブック、ツイッター、リンクトインでメンバーを募集する。
- ロータリー国際大会やその他のロータリー行事に参加して、共通の関心をもつ人を探してみる。

### 役立つページ

詳しい情報を以下のページをご覧ください。

[www.rotary.org/ja/our-programs/more-fellowships](http://www.rotary.org/ja/our-programs/more-fellowships)

### お問い合わせ

[rotaryfellowships@rotary.org](mailto:rotaryfellowships@rotary.org)

JA (0430)

リーダーのネットワークへ [www.rotary.org/fellowships](http://www.rotary.org/fellowships)



## ロータリー親睦活動一覧表

最新のロータリー親睦活動はRIウェブサイトをご参照ください。

Amateur Radio (アマチュア無線)	(エスペラント語)	Enforcement (警察関係)
Antique Automobiles (アンティーク自動車)	Fishing (釣り)	Pre-Columbian Civilizations (コロンブス到来以前の明)
Authors and Writers (作家と著者)	Flying (飛行)	Quilters and Fiber Artists (キルトおよび織物手芸家)
Beer ビール	Geocaching(宝探し)	Railroads (鉄道)
Bird Watching (バードウォッチング)	Go (囲碁)	Recreational Vehicles (キ ャンピング・カー)
Bowling (ボーリング)	Golf (ゴルフ)	Rotary Global History (ロータリー世界史)
Canoeing (カヌー)	Home Exchange (住まい交換)	Rotary Heritage and History (ロータリー歴史と 伝統の会)
Caravanning (キャラバン式旅行)	Honorary Consuls (名誉領事)	Rotary Means Business(ロ ータリーとビジネス)
Carnival, Parades & Festivals (カーニバル、パレード、祭典)	Horseback Riding (乗 馬)	Rotary on Stamps (ロータリーの切手収集)
Chess (チェス)	Internet (インターネット)	Scouting (スカウト)
Computer Users (コンピュータ・ユーザー)	Italian Culture (イタリア文化)	Scuba Diving (スキューバ ダイビング)
Cooking (料理)	Jazz (ジャズ)	Singles (シングルス)
Convention Goers (大会参加者)	Latin Culture (ラテン文化)	Skiing (スキー)
Cricket (クリケット愛好家)	Lawyers (弁護士)	Social Networking (ソーシ ャル・ネットワーキング)
Crusing(クルージング)	Literacy Providers (識字向上推進者)	Tennis (テニス)
Curling (カーリング)	Magicians (手品師)	Total Quality Management (総合品質管理)
Cycling (サイクリング)	Magna Graecia (マグナグラエシア)	Travel and Hosting (旅行 と歓待)
Doctors (医師)	Marathon Running (マラソン・ランナー)	Wellness and Fitness (健康とフィットネス)
Doll Lovers (人形愛好家)	Motorcycling (バイク愛好家)	Wine (ワイン)
E-Clubs (Eクラブ)	Music (音楽)	Yachting (ヨット)
Editors and Publishers (編集者・出版者)	Old and Rare Books (希少古本)	
Environment (環境)	Past District Governor (パストガバナー)	
Esperanto	Photographers (写真)	
	Police and Law	

## セッション1 資料3

### ロータリー行動グループ



# ロータリー行動グループ

「ロータリー行動グループ」は、特定の専門分野における知識と経験を備えた国際的なメンバーから成る、独立したロータリー関連グループです。グループのメンバーは、人道的なインパクトを高めるというロータリーの優先事項に沿って、各自の知識と熱意を生かし、インパクトのある奉仕プロジェクトを計画・実施するためにクラブと地区を援助します。各グループは、RIの方針に沿いながら、独自の管理体制と会員組織をもち、その活動を監督しています。

#### 行動グループへの参加

- どなたでもグループに参加できます。ロータリアン、ローターアクター、平和フェローは、グループのリーダー的役割を担うことができます。
- グループへの参加を通じて、クラブ、地区、国を超えて、仕事のスキルを生かしてアドバイスを提供し、奉仕活動の成功を援助することができます。
- ロータリー行動グループは、同じ志を抱く世界中の人たちとネットワークを築く機会です。

#### 行動グループとの協力

ロータリー行動グループは、メンバーが専門とする分野での奉仕プロジェクトにおいて、クラブや地区と定期的に協力します。以下のような目的のためにグループに連絡することができます：

- 社会奉仕活動やグローバル補助金プロジェクトの計画と実施のために、専門知識をもつメンバーにアドバイスをもらう。
- プロジェクトで協力できるロータリー内外の団体を見つける。
- プロジェクトの資金調達を援助してもらう。
- グループが実施している代表的プロジェクトを参考にして、地元で同様の活動を実施する。
- 地域社会をより良くするために、クラブや地区での活動のインパクトを高める。
- 地元に住む行動グループメンバーに、地区リソースネットワークに参加してもらう。

行動しよう：

[www.rotary.org/ja/actiongroups](http://www.rotary.org/ja/actiongroups)

27

の行動グループ

世界に 34,000 人のメンバー

行動グループ(2021年)

2400 

の奉仕プロジェクトを支援

メンバーの国籍



150

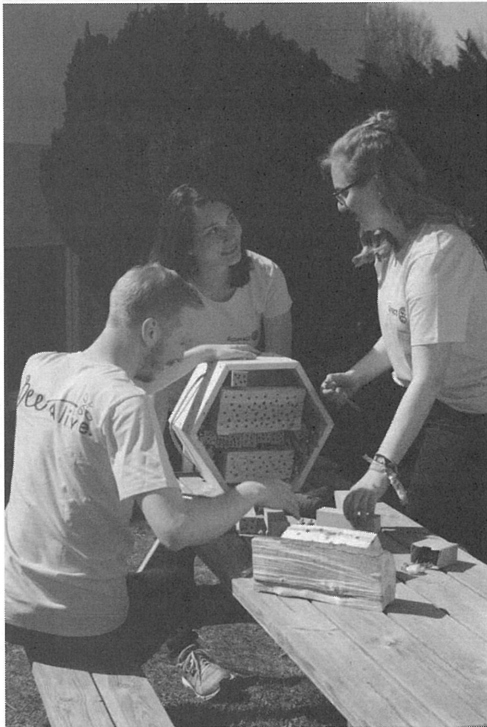
カ国

\$968,000

人道的プロジェクトの総額

## ロータリー行動グループ

特定の奉仕分野に関心のある方、また専門知識や経験をお持ちの方は、各ロータリー行動グループのウェブサイトの詳細をご覧ください。



アルツハイマーと認知症	<a href="http://adrag.org/">http://adrag.org/</a>
ポリオサバイバー	<a href="http://www.rotarypoliosurvivors.org">www.rotarypoliosurvivors.org</a>
マラリア	<a href="http://www.ram-global.org">www.ram-global.org</a>
メンタルヘルス	<a href="http://ragonmentalhealth.org">http://ragonmentalhealth.org</a>
保健教育と福祉	<a href="http://www.hewrag.org">www.hewrag.org</a>
内反足	<a href="http://www.rag4clubfoot.org">www.rag4clubfoot.org</a>
地域社会の経済発展	<a href="http://www.ragced.org">www.ragced.org</a>
基本的教育と識字	<a href="http://www.litrag.org">www.litrag.org</a>
多発性硬化症	<a href="http://www.rotary-ragmsa.org">www.rotary-ragmsa.org</a>
失明予防	<a href="http://www.rag4bp.org">www.rag4bp.org</a>
家庭内暴力の防止	<a href="http://www.ragfamsafe.org">http://www.ragfamsafe.org</a>
家族の健康／エイズ予防	<a href="http://www.rfha.org">www.rfha.org</a>
平和	<a href="http://www.rotarianactiongroupforpeace.org">www.rotarianactiongroupforpeace.org</a>
強制労働の防止	<a href="https://ragas.online/">https://ragas.online/</a>
月経衛生	<a href="https://www.ragmhh.org/">https://www.ragmhh.org/</a>
母子のリプロダクティブ・ヘルス	<a href="https://rotaryrmch.org/">https://rotaryrmch.org/</a>
水と衛生	<a href="http://www.wasrag.org">www.wasrag.org</a>
災害援助	<a href="http://www.dna-rag.com">www.dna-rag.com</a>
献血	<a href="http://www.ourblooddrive.org">www.ourblooddrive.org</a>
環境の持続可能性	<a href="http://www.esrag.org">www.esrag.org</a>
糖尿病	<a href="http://www.rag-diabetes.org">www.rag-diabetes.org</a>
絶滅危惧種	<a href="http://www.rag4es.org">www.rag4es.org</a>
聴覚	<a href="http://www.ifrahl.org">www.ifrahl.org</a>
肝炎の根絶	<a href="http://www.ragforhepatitiseradication.org">www.ragforhepatitiseradication.org</a>
薬物中毒防止	<a href="http://www.rag-ap.org">www.rag-ap.org</a>
難民	<a href="https://www.ragforrefugees.org/">https://www.ragforrefugees.org/</a>
食用植物の栽培	<a href="http://foodplantsolutions.org">http://foodplantsolutions.org</a>

## 新しいロータリー行動グループを結成する

新しいグループの結成方法は、[こちらのガイド](#) (英語) をご参照ください。すべてのグループは、国際ロータリー理事会の承認を受ける必要があります。

## ロータリー行動グループの活動例

- 人口と開発に関するロータリー行動グループは、ドイツ、オーストリア、ナイジェリアのロータリークラブと協力し、ナイジェリアの農村地域にある病院で、新生児と母親の死亡率を減らすプロジェクトを実施しました。
- エイズと家族の健康のためのロータリー行動グループは、毎年アフリカやその他の地域で保健イベントを開催し、多くの住民を対象にHIV検査とカウンセリングも行っています。
- マイクロファイナンスと地域発展のためのロータリー行動グループは、クラブや地区と小口融資金融機関とを結びつけ、貧しい人びとが収入を得るための仕事ができるよう支援しています。

## 関連資料

- ロータリーの重点分野  
[www.rotary.org/myrotary/ja/document/589](http://www.rotary.org/myrotary/ja/document/589)
- ロータリー行動グループ名簿  
[www.rotary.org/myrotary/en/document/714](http://www.rotary.org/myrotary/en/document/714)
- ロータリー行動グループ年次報告書 (英語)  
[www.rotary.org/myrotary/en/document/713](http://www.rotary.org/myrotary/en/document/713)
- 地域調査の方法  
[www.rotary.org/myrotary/ja/document/578](http://www.rotary.org/myrotary/ja/document/578)
- プロジェクトのライフサイクル  
[www.rotary.org/myrotary/ja/take-action/develop-projects/lifecycle-project](http://www.rotary.org/myrotary/ja/take-action/develop-projects/lifecycle-project)

## お問い合わせ

Eメール: [actiongroups@rotary.org](mailto:actiongroups@rotary.org)



## 2 効果的なリーダーシップ戦略

ロータリーの旅を更に進めるにつれて、私は自分のリーダーシップスタイルを試し続けて、より複雑で巧みなリーダーシップ・スキルの使用に取り組み、リーダーシップを発揮する機会を捉えます。



### セッションの目標

- グループの中での指導力やコミュニケーション能力を向上させる
- 目標や提案に対する支援を勝ち取ることができる方法を確認する

### セッションの問い

- 1) 混乱したロータリークラブについてのシナリオ  
(資料1 シナリオ参照：P106)
  - a) このクラブの真の問題は、あるとすれば、何でしょうか？
  - b) その問題点をリーダーシップによってどのように解決できるでしょうか？
  - c) あなたなら、どんなリーダーシップ戦略を提案しますか？
- 2) クラブには「影響力」がある人と、「影響力」がない人がいます。
  - a) 影響力とは何でしょうか？  
どのような人が影響力がありますか？  
周りに良い影響を与える人とはどのような人ですか？
  - b) 影響力とリーダーシップはどういう関係性でしょうか？
- 3) 合意形成とは何でしょうか？  
合意形成とリーダーシップの関係を考えてください。  
(資料2：P107)

## セッション2 資料1

### 効果的なリーダーシップ戦略シナリオ

#### シナリオ (混乱したクラブ)

ミルトン・クロッシング (Milton Crossing) ロータリークラブはメンバーの中に数名の活動的な会員がおります。しかし、ほとんどの会員は、無関心です。彼らは昼食を食べに来るだけで、しばしば卓話プログラムが始まる前に退席し、他に何も活動はしません。会員数は33名。3年前の62名から減少しています。2、3の活動的な会員はクラブを維持しようとしています。彼らもクラブ活動にもう疲れてきている。Myron 会長は理事会のメンバーと会談し、理事会はいくつかの問題をリストアップしました。

- (1) 例会でいつも一緒に席に座る派閥があり、他の皆を無視します。
- (2) 非積極的な会員の何名かは言うことだけは大きい人ですが、頼まれた時は何処かへ消えていきます。
- (3) ある会員は何カ月もの間例会に出席していません。しかし、クラブは、もし出席を催促すると、会員が退会してしまうのを恐れています。
- (4) ある会員は大声でこう言います。『私たちはもうこれ以上会員は必要ありません。現在、私たちのクラブは幸せで友好的なグループとなっています。会員が増えれば、それが阻害されます。』
- (5) 2名の会員が新会員をスポンサーするように依頼された時、彼らは、『会員の質が一番大切です。それをよく注意しなければ、、、』と反論してきました。
- (6) ほとんど会員が繁忙のためにクラブ活動に参加できないと言うため、委員会のメンバーを埋めるのに苦労していると会長は公表しています。

クラブの問題は解決されるでしょうか？ 計画を立案し、グループでどのような結論になったかを議論します。どうしたら彼らの計画の承諾が得られるのか、そして、どうしたらそれがクラブによって実施されるかを議論します。

## セッション2 資料2

### 合意（コンセンサスの）形成

#### 合意（コンセンサスの）形成

コンセンサスを形成することは、特に、違った観点を持っている人たちの間では、全員のニーズを満足させる解決を見つけようとする行動です。：それは妥協や強制による放棄を意味するものではありません。他人を合意（コンセンサス）に導くことは、結果的に、実行可能で持続可能な決定になります。

#### 話のポイント

- ・コンセンサスを定義し、あなたが他人と一緒にもたらさねばならない“時間の物語”を共有します。
- ・問題をより良い解決へと導くことができ、そして、すべての当事者が彼らの意見を表明することが許される、“開かれた意見の不一致”の利点を説明します。
- ・たとえば、全員にプロジェクトの所有者意識を感じてもらうような、そして新しい解決策を発見するような、合意形成の利点を議論します。
- ・合意形成のプロセスの概要：
  1. それぞれの当事者が自分の立場から、望むことをリストアップする。
  2. それぞれの人にとって何が重大な事か、重大な事でないかをもう一度よく吟味する。
  3. 新しい解決策をブレインストーミングする。
  4. これらの解決策の成果を議論する。
  5. 重大なニーズを満たすように解決策や他の決定について手直しをする。

#### 議論のための質問

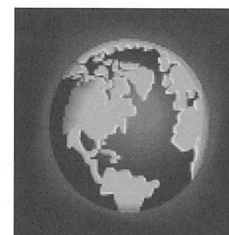
あなたの職業でコンセンサスはなぜ必要なのですか？ロータリークラブではどうでしょうか？  
コンセンサスは妥協の結果ではないことを、どのようにして確認しますか？  
関係する全員に、どのようにして満足させますか？

#### 提案された行動

**グループ討議：**参加者を小さなグループに分けて、ケーススタディーを勉強します。  
違った観点のグループ会員を割り当てて、一人の参加者がモデレーターとなり、必ず合意を形成するようにします。

**個々の作業：**参加者に合意形成に参加しなければならない時間を考慮するように依頼します。彼らが参加したそのプロセスをどのように考えるのか、また、その結果にどのように満足したでしょうか。

### 3 ロータリー財団Ⅲ 国際奉仕



ロータリーの旅を進めるとき、様々なニーズに出会い、その問題を解決し、平和を構築することを支援することで、世界中にコネクションを築くことができます。

#### セッションの目標

- ▶ 国際奉仕の機会について学ぶ
- ▶ 私たちの職業上のスキルを国際奉仕プロジェクトに活用する
- ▶ 国際奉仕に関するアイデアを探求する。

#### セッションの問い

1. 国際奉仕とはどのようなものでしょうか？

五大奉仕部門の第4項目を参考にして、考えましょう。

4. 奉仕の第四部門である国際奉仕は、書物などを読むことや通信を通じて、さらには、他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じて、他国の人々とその文化や慣習、功績、願い、問題に対する認識を培うことによって、国際理解、親善、平和を推進するために、会員が行う活動から成るものである。

2. あなたのクラブで印象に残る国際奉仕プロジェクトは何ですか？

3. ロータリー財団の支援を受けて実施する国際奉仕を促進させるために、クラブは何ができますか？

4. 国際奉仕の機会を促進させるために、一人のロータリアンとして何ができますか？

あなたの職業上のスキルを国際奉仕にどのように役立たせることができるでしょうか？

5. 国際奉仕プロジェクトをどのように探しますか？（資料1：P109）  
国際奉仕プロジェクトのアイデアを考えましょう。

## セッション3 資料1

### 国際奉仕プロジェクトとは何でしょうか？

かつて世界社会奉仕（WCS）と呼ばれた、国際奉仕プロジェクトは2つ以上の国のロータリークラブを含めて、結束して彼らの地域社会の一つに奉仕するプロジェクトです。国際的な支援を探しているクラブは、世界中のクラブとウェブサイトを通じて、彼らのプロジェクト・ニーズを公表することができます。

同様に、国際的奉仕活動を支援をしたいと思っているクラブは、ウェブ・リソースを利用することで、適当な候補者を見つけることができます。

奉仕と通じて、国際理解と善意を促進することによって、国際奉仕プロジェクトはロータリーの心を映し出し、そして、わくわくするような、挑戦的な、満足感を体験する機会をロータリアンに提供します。

プログラムの歴史とゴール：WCS プログラムは 1967 年に正式に開始されました。それ以来、何千もの WCS プロジェクトが完遂され、それらを支援するための、ロータリークラブによって毎年、何百万ドルの資金と支給品が寄付されました。国際奉仕プロジェクトを支援するために、「リソースとサポートのモデル」への転換を RI 理事会が承認したことを受け、世界社会奉仕（WCS）は 2011 年 6 月 30 日をもって廃止されました。

国際奉仕プロジェクトの目的は、

1. 国際奉仕活動を通じて援助を必要としている人々の生活の質を改善する。
2. 国際的な奉仕活動を実行するため、他の国のクラブと地区の間の協力を促進する。
3. プロジェクト・ニーズと支援に関して、情報交換のための効果的な枠組みを作る。
4. 人々の自助努力を助けるプロジェクトを実行することの重要性と同様に、国際的な発展と文化的な問題についてロータリアンの認識を増加させる。
5. 国際ロータリーとロータリー財団に関係するプログラムの参加者を支援する。
6. 他のロータリアンとプロジェクトの成功経験を共有する。
7. 国際理解と親善と平和を促進させる。

国際ロータリーウェブサイトの補助金センターを参照して下さい。 [www.rotary.org](http://www.rotary.org).

RI 理事会は、国際奉仕に関して少なくともひとつのプロジェクトを構築することを推奨しています。

プロジェクトは次の範疇を必ず守るものとする。

1. プロジェクトは実際に人道主義的である。
2. 二カ国以上のロータリアンが関与している。
3. プロジェクトはこれらの国の一つに位置している。

奉仕活動を開始するにあたって

プロジェクトを行うロータリークラブは、プロジェクトによる利益は、プロジェクトが行われる地域をはるかに超えて、広がっていることを理解することができます。

クラブは（1）クラブに更に野心的なプロジェクトに着手させる、（2）すべての参加者に奉仕のために奮闘する能力を与える、（3）海外のロータリアンとのより緊密な結びつきを促進する、（4）国際理解と親善を深める、そして（5）世界的な関心事を扱う機会を持ちます。

多くのクラブはロータリアン間の非公式な接触から、国際奉仕プロジェクトへの参加を開始します。

ロータリーショーケース([http://map.rotary.org/en/project/pages/project\\_showcase.aspx/](http://map.rotary.org/en/project/pages/project_showcase.aspx/))はロータリアンがWCSに参加することができるもう一つの方法です。

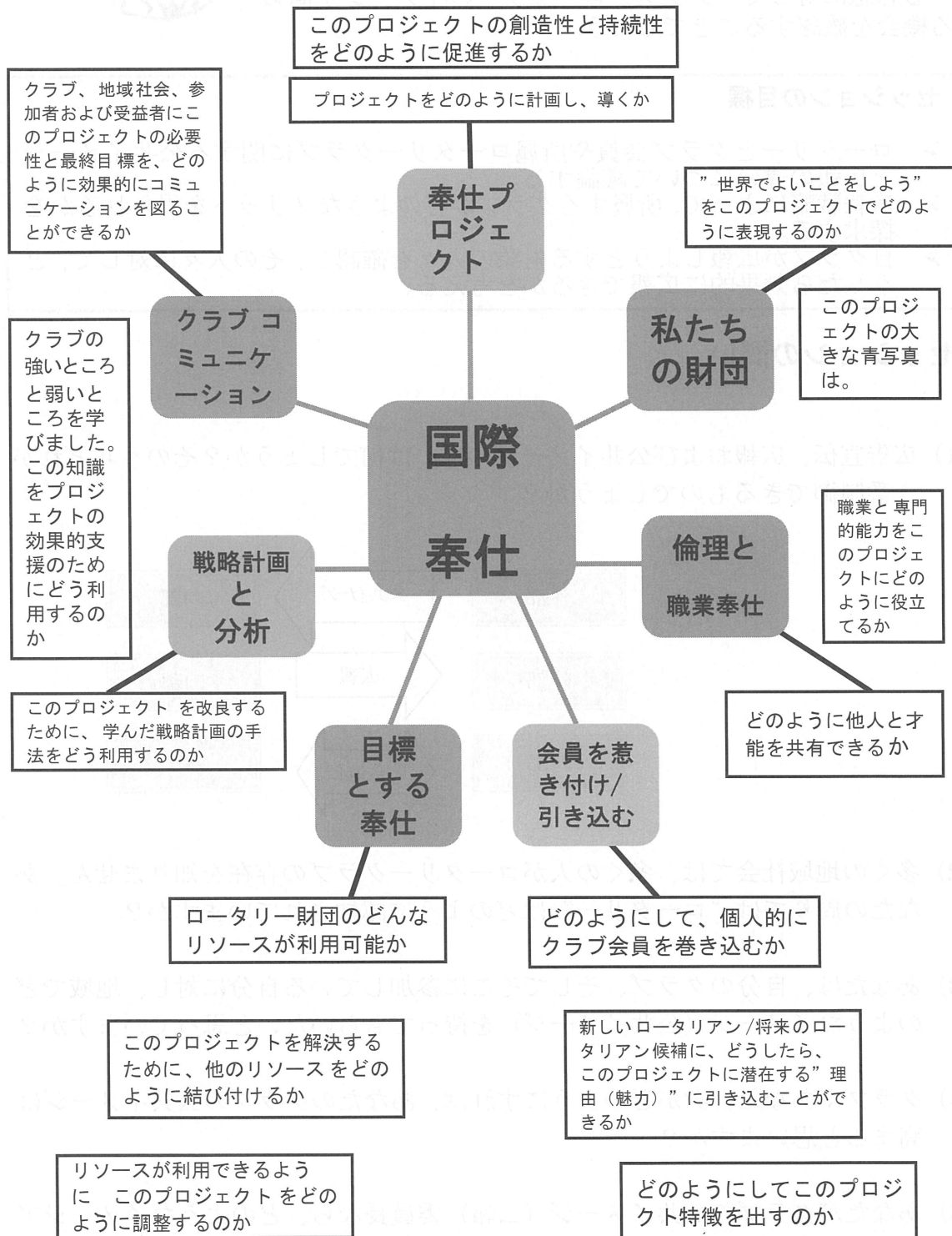
この検索可能なデータベースは、ウェブサイト ([www.rotary.org](http://www.rotary.org)) に収納されており、資金を必要としている世界中の何百ものクラブや地区の社会奉仕プロジェクト、ボランティア、寄贈品、ロータリー財団補助金のパートナーが掲載されています。

また、そこには、ベストプラクティス（最も効率のよい手法や活動）の源泉となりえるモデルプロジェクト例も提供してくれます

(RI 資料：「世界社会奉仕のハンドブック：行動への手引き」より引用)

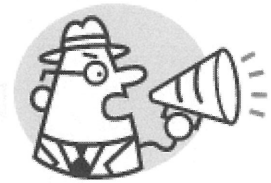
## セッション3 資料2

### 国際奉仕の関係を纏めてみましょう



## 4 公共イメージと広報

ロータリーの旅を進めるとき、地元地域社会や世界の享受する恩恵に対して、クラブとロータリーのイメージを高める機会を確認することでしょう。

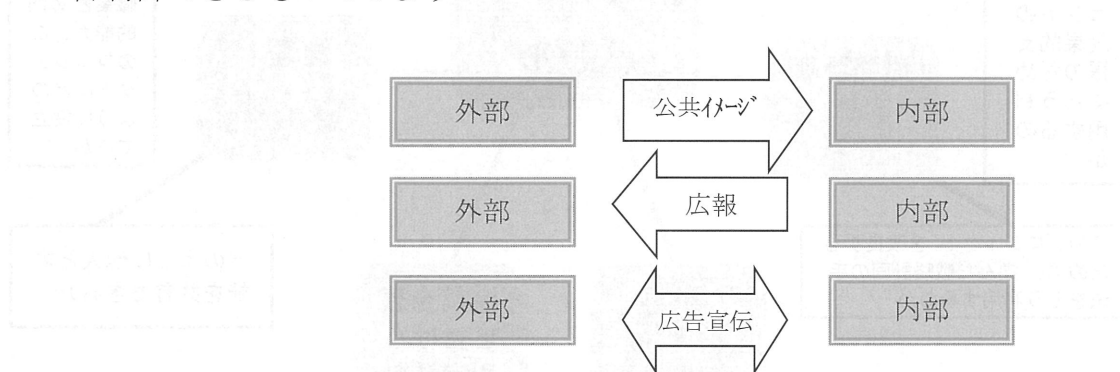


### セッションの目標

- ロータリーとクラブ会員や所属ロータリークラブに関する公共イメージと広報の違いについて議論する。
- 広報戦略によって、所属するクラブがどのようなメリットを得られるかを探求する。
- 自クラブが広報しようとする対象の人々を確認し、その人々に対して、どうしたら効果的に広報できるかを考える。

### セッションの問い

- 1) 広告宣伝、広報および公共イメージの違いは何でしょうか？そのうちどれが一番制御できるものなのでしょうか？



- 2) 多くの地域社会では、多くの人々がロータリークラブの存在を知りません。あなたの周りでは“ロータリー”はどのように認知されていますか？
- 3) あなたは、自分のクラブ、そしてそこに参加している自分に対し、地域でどのようなイメージ（公共イメージ）を持ってもらいたいと思っていますか？
- 4) クラブやあなた自身がどのようにすれば、あなたのクラブの公共イメージは高まると思いますか？
- 5) あなたがクラブの公共イメージ（広報）委員長なら、どのようなイメージアップ戦略を企画しますか？



## 5 規定審議会・決議審議会

### The Council on Legislation & Council on Resolutions



3年に一度開かれる規定審議会（COL）は、ロータリーの管理運営プロセスの重要な部分です。

決議審議会（COR）は毎年、電子的コミュニケーションを通じて決議案を審議します。採択された決議案は、後日、理事会あるいは財団管理委員会で検討されます。

#### セッションの目標：

- 規定審議会（COL）と決議審議会（COR）の意義と仕組みを理解する。

### セッションの問い

- 1) 手続要覧をご覧になったことがありますか？  
ロータリー章典をご存じですか？
- 2) 審議会の仕組みを理解しましょう。（資料1：P114）
  - a. 規定審議会と決議審議会の違いとは？  
規定審議会では変えられることは？
  - b. 審議会には、誰が提案できるのか？
  - c. 規定審議会・決議審議会のサイクルと手続き。
- 3) もしあなたが、ロータリーに関して何かを変えようとしたら、何を換えようと思いますか？  
具体的に、そしてその理由は？
- 4) あなたの提案でどのようにロータリーは変わりますか？

## セッション5 資料 1

### 規定審議会とは

規定審議会は、3年に1度開催される国際ロータリーの立法機関となっている。3年に1度開催される規定審議会では、ロータリーの組織規定に変更を加える制定案と、RI理事会の見解を表明する見解表明案について審議と投票が行われる。規定審議会では制定案と見解表明案(見解表明案はRI理事会のみ提出できる)のみが審議される。ロータリーの組織規定(RI定款と細則・標準ロータリークラブ定款)を改正する権限を持つのは規定審議会だけである。

### 立法案の種類

規定審議会で審議される立法案は、制定案と見解表明案に限るものとする。組織規定を改正しようとする提案は**制定案**と称する。RIの立場を表明しようとする提案は**見解表明案**と称するものとする。

### 立法案の提出者

制定案は、クラブ、地区大会、RIBI審議会または大会、規定審議会、および理事会が提案できる。見解表明案は理事会のみが提案できる。理事会は、管理委員会の事前の承諾なしには、ロータリー財団に関する立法案を提出しないものとする。

### クラブ提出の立法案を地区で承認

クラブの制定案は必ず地区大会、地区立法案検討会、またはRIBI地区審議会において、地区内のクラブの承認を受けなければならない。地区大会、地区立法案検討会、またはRIBI地区審議会に制定案を提出する時間的余裕がない場合、ガバナーの実施する郵便投票を通じて地区内クラブの票決を求めることもできる。いかなる地区も、1回の規定審議会につき5件より多くの制定案を提案もしくは承認すべきではない。

### 制定案と見解表明案の締切日

制定案は、すべて規定審議会の開かれるロータリー年度の前年度の12月31日までに、RI事務総長に提出されなければならない。理事会は、緊要性があると判断した制定案を、規定審議会の開かれるロータリー年度の12月31日までに、事務総長に提案、提出することができる。理事会の提出する見解表明案については、規定審議会が閉会するまでこれを受理し、その票決を行うことができる。

### 制定案の採択

2019年規定審議会の結果、国際ロータリー細則の第7.070.6.項に従い、制定案の事前審査が行われる。事前審査の目的は、広く支持または反対されている案件をより簡単に解決することで、規定審議会の効率を向上させることである。80%よりも多くの代表議員が案件に賛成した場合、その案件は規定審議会により採択されたと見なされる。規定審議会で審議される議案は、

### RI定款については、

規定審議会において、出席し、かつ投票を行う者の投票の3分の2によって改正できる。

### RI細則・標準ロータリークラブ定款については、

臨時審議会の規定を除き、規定審議会に出席し投票した人の過半数によってのみ改正することができる。規定審議会の臨時会合で制定案を採択するには、出席し、投票した人の3分の2の賛成投票が必要とされるものとする。

## 決議審議会とは

決議審議会は、毎年、電子的コミュニケーションを通じて決議案を審議する機関となっている。採択された決議案は、後日、理事会あるいは財団管理委員会で検討される。また、2019年規定審議会において、決議審議会は規定審議会の特別会合として、理事会が緊急性があると判断し、正規の手続で提出した制定案を審議し、決定を行うことができるようになった。

## 決議案

決議審議会の意見の表明である案件を決議案とする。決議案は、ロータリー世界全体に影響を与える案件に適している。決議審議会で採択された決議案のみが理事会や管理委員会で検討される。このため、理事会等で確実に検討してもらいたい場合には、決議案の代わりに、請願書として提出する方法もある。

## 決議審議会の会合

決議審議会は、毎年開催されるものとする。決議審議会は電子的コミュニケーションを通じて招集されるものとする。

## 決議案の提出者

決議は、クラブ、地区大会、RIBI審議会または大会、および理事会が提案できる。

## クラブ提出の決議案を地区で承認

クラブの決議案は必ず地区大会、地区立法案検討会、またはRIBI地区審議会において、地区内のクラブの承認を受けなければならない。事務総長に送達される決議案には、地区大会や地区立法案検討会やRIBI地区審議会での審議、または、郵便投票の票決により承認されたことを明記したガバナーの証明書を添付するものとする。

## 決議案の締切日

決議案は、その案件が審議される決議審議会の開催年度の前年度6月30日までに、事務総長に書面で提出されなければならない。理事会の提出する決議案については、決議審議会が閉会するまでこれを受理し、その票決を行うことができる。

## 決議案の採択

決議案は、決議審議会での投票する代表議員の少なくとも過半数の賛成票で、採択することができる。

## 規定審議会と決議審議会

	規定審議会	決議審議会
頻度	3年に1度	毎年
開始日	4月、5月または6月	特定なし
場所	世界本部の近く 直接を顔を合わせる	オンラインフォーラム
投票者	代表議員	代表議員
審議される立法案	制定案と見解表明案	決議案
立法案締切日	審議会前年度の12月31日	審議前年度の6月3日
修正	可	不可
緊急性のある理事会からの制定案	審議会前年度の12月31日	該当せず
理事会からの見解表明案の締切日	審議会閉会するまで	該当せず
理事会からの決議案の締切日	該当せず	審議会前年度の12月31日
立法案集の発行	審議会開催年度の9月30日	特定なし

セッション5 資料2

規定審議会の提案数&採択案数の変遷

	立法案	制定案	見解 表明案	決議案	採択立法 案	採択 制定案	採択 決議案	採択見 解表明	日本 制定案	日本 決議案	日本 採択制定	日本 採択決議
2022年	88	88	0	—	29	29	—	—	26	—	7	—
2019年	117	116	1	—	47	47	—	1	25	—	6	—
2016年	181	117	—	64	61	47	14	—	17	9	6	5
2013年	173	142	—	31	59	53	6	—	14	6	4	3
2010年	220	128	—	92	66	47	19	—	10	14	1	2
2007年	337	167	—	170	97	59	38	—	17	7	3	3
2004年	476	250	—	226	100	50	50	—	6	8	2	2
2001年	681	388	—	243	98	55	43	—	11	22	1	3
1998年	196	196	—	87	54	38	16	—				
1995年	196	159	—	37	31	22	9	—				
1992年	342	272	—	70	58	49	9	—				
1989年	179	133	—	46	41	31	10	—	1	1	1	
1986年	255	192	—	63	69	54	15	—	0	0	0	0
1983年	198	169	—	29	46	36	10	—	5	1		
1980年	123	107	—	16	46	38	8	—	8	0		0
1977年	116	98	—	18	37	29	8	—	4	0	1	0
1974年	80	60	—	20	25	19	6	—				
1972年	83	70	—	13	20	15	5	—				

## 2022年規定審議会 審議結果

		提案数	採択数	採択率	備考
1	日本	26	7	26.9	
2	ブラジル	14	2	14.3	
3	RI 理事会	11	11	100	事前に2件取り下げ
4	米国	7	3	42.9	事前に3件取り下げ
5	インド	8	1	12.5	事前に1件取り下げ
6	台湾	8	1	12.5	
7	ノルウェー	4	1	25.0	
7	オーストラリア	4	0	0	
7	カナダ	4	2	50.0	
10	スウェーデン	3	0	0	
11	フランス	2	0	0	
11	スイス	2	0	0	
11	韓国	2	1	50.0	
11	ドイツ	2	1	50.0	
11	タイ	2	0	0	
16	RIBI	1	1	100	
16	アイルランド	1	0	0	
16	ペルー	1	0	0	
16	チリ	1	0	0	
16	アルゼンチン	1	0	0	
16	スペイン	1	0	0	
16	リトアニア	1	0	0	
16	イタリア	1	0	0	
16	デンマーク	1	0	0	
<b>合計</b>		<b>88</b>	<b>29</b>	<b>32.95</b>	<b>事前に6件取り下げ</b>

## 2022年規定審議会 分野別提案数

分野	全体	日本	RI	採択数
クラブ運営	9	5	0	1
クラブ例会と出席	10	7	0	3
会員	6	0	0	4
奉仕部門・行動規範	6	1	0	1
ローターアクト	3	0	1	1
国際ロータリー（役員・選挙）	7	0	3	3
国際ロータリー（一般）	4	0	1	2
国際ロータリー（雑誌）	2	1	0	0
国際ロータリー（クラブ）	2	0	0	1
国際ロータリー（委員会）	4	0	1	1
国際ロータリー（会議）	1	0	0	0
国際ロータリー（管理運営）	3	3	0	0
国際ロータリー（財務）	4	0	1	3
ロータリー財団	1	0	0	0
人頭分担金	6	1	1	1
審議会（事前手続・会議・代表議員）	12	6	1	4
審議会（その他）	2	1	1	2
地区運営	6	1	1	2
<b>合計</b>	<b>88</b>	<b>26</b>	<b>10</b>	<b>29</b>

## 6 変化をもたらす



ロータリーの旅を進めるとき、RLI の研修によって私自身の経験や成長を自己評価することができるでしょうし、また後輩のロータリアンのために改善のお手伝いができるでしょう。

### セッションの目標

- 他の後輩ロータリアンのために、RLI 参加者として RLI の経験を改善するためにはどのようなことができますか？
- RLI の議論の中から出たアイデアを、ロータリークラブ、他の市民団体、社会生活、あるいは職業において、どのように利用することができるでしょうか？
- あなたの経験から RLI プログラムの強み弱みを分析し、RLI 改善のための提言をしてください。

### セッションの問い

- 1) あなた個人として、RLIのパート I からパート III までの中で、どのセッションが一番心に残りましたか？また、それはなぜですか？
- 2) それぞれのセッションの目標に到達するには、どのような討議・資料が一番効果的でしたか？ それはなぜでしょうか？
- 3) あなたはRLIの経験から何を学びましたか？  
RLIに参加してあなた自身に何か変化がありましたか？
- 4) 学んだことを社会生活や仕事にどう活かせるでしょうか？
- 5) 「私のRLI個人別行動計画」(資料1 : P119) を作成してみましょう。

## ご卒業おめでとうございます！

もっと学びたいですか？RLIでは卒業生のために特別な卒後コースを用意しています。

## セッション6 資料

### 私のRLI個人別行動計画

目標：私がこの研修の結果として、今までとは違う行動しようと計画していることを一つ挙げて下さい。

---

スマート (SMART) な目的 : \_\_\_\_\_

S pecific 特別な : \_\_\_\_\_

M easureable 測定可能な : \_\_\_\_\_

A chievable/Agreed to 達成できる : \_\_\_\_\_

R ealistic/Result-oriented 現実的な : \_\_\_\_\_

T ime-framed 達成日が決まっている : \_\_\_\_\_

(goal attainment date)

この目標を達成するための行動ステップ :

1. \_\_\_\_\_

2. \_\_\_\_\_

3. \_\_\_\_\_

支援してくれる人、あるいは支援ツール : (目標達成のために誰が/何が支援しますか)

---

---

必要な追加的な研修や知識 :

目標達成をどのようにお祝いしたら良いでしょう ! \_\_\_\_\_

署名 : \_\_\_\_\_ 日付 : \_\_\_\_\_

